

山行報告書

日時	2022年3月18日(金)~21(日)		天候	2日目:曇り時々晴れ 3日目:曇り時々晴れ
山名	関西の山(加西アルプス・雪彦山)			
CL	こーちゃん	参加者	M澤 (総勢2名) +旧会員M岡(雪彦山のみ)	
(コース)	<p>1日目:福岡22:45=(高速バス)=6:30三ノ宮 2日目:・・・三ノ宮7:14=加古川=粟生=9:01播磨下里 播磨下里9:20・・・善坊山・・・吊橋・・・笠松山・・・13:35播磨下里 =粟生=加古川=姫路(ホテル泊) (行動時間:2:45)</p> <p>2日目:姫路=(レンタカー)=雪彦山登山口 登山口7:00・・・出雲岩・・・大天井岳・・・新下山道分岐・・・雪彦山 ・・・銚立山・・・ジャンクションピーク・・・13:20登山口 登山口=(レンタカー)=姫路18:18=(新幹線)=22:35福岡 (行動時間:4:30)</p>			
(コメント)	<p>加西アルプス&雪彦山山行に参加致しました。 加西アルプスは低山ながらも豪快な岩稜でアルプスと言うだけあり展望の良い山歩きでした。 雪彦山は弥彦山、英彦山と日本三彦山と言われる修験道の山で、岩あり、滝沢ありのバリエーションに富む山でした。 加西アルプスはリーダーと二人の山行でしたが、雪彦山は大阪のOBのM岡さんの参加がありました。 1日目の夜はリーダーとお酒を飲み交わし、2日目はM岡さんに会えた喜びのハッピーな山行でも幸せでした。(M澤)</p> <p>2019年に発売された登山雑誌の「全国岩稜名山」(標高が低いからと侮るなかれ。アルプスに行かずとも楽しめる、スリリングな高難度ハイキング。)と言う特集を見て、何時か行こうと企んでいた関西の2山(加西アルプス・雪彦山)へ登って来ました。 どちらの山も期待通りのスリリングな山行が出来ました。 特に雪彦山の登山口→大天井岳は、特集の言葉通り「登山口から山頂まで、次から次におもしろい岩場のオンパレード」でした。また、この時期には珍しく、前夜雪が降っていて、木の枝に新雪が積もっており、ちょっと不思議な景色でした。また、下山時は沢の渡渉が何か所かあり、ちょっと緊張する場面もありましたが、その分印象深いところの連続でした。 今回の山行には、旧会員のM岡さんが合流され、思い出話や今の関西の山の会の話等々で盛り上がりました。 夜行バス、割安新幹線、ゲストハウスタイプホテル利用等の工夫をすることで、比較的低価格で関西まで遠征することが出来ましたので、また同様な山行を企画したいと考えています。(こーちゃん)</p>			
費用概算	<p>(交通費/人) 約20,000円 (その他/人) 約10,000円</p>			

